



「授業で制作したTシャツ」



「ロボットのクラスの授業風景」



「4輪駆動ロボットを黒色の道に沿って走らせる」

を受けます。また自分自身のできばえを振り返ることで、他の生徒と比べてではなくて自分自身の中でのレベルアップを図る良い機会にもなっています。生徒のプレゼンテーションの発表の機会も多くあり、授業中はもちろんのこと、毎年、校内で実施される「プレゼンテーション大会」や、今年6月に2回目が開催された「SIS Education EXPO 2008」では、生徒たちが元気づく生き生きとした発表を行っています。

中学1年生以降は、さらに中級・上級のプレゼンテーションスキルを磨くクラスを設定しています。「Multimedia Contents 制作」は、情報科では最もレベルの高いプレゼンテーションに取り組む高校生のクラスですが、実際に受験する大学のAO入試の課題（レポートやPowerPointでのプレゼンテーションなど）を持ち込んで、入試準備に取り組むこともでき、うまく活用することにより実際に良い結果を出している生徒もいます。中学1年以降の編入学で情報科や「知の探検隊」の授業を受ける機会がない生徒の場合でも、同じような内容の授業がいくつかありますので、入学時期や学年にかかわらず各自の状況に合うレベルから、同じような道筋でスキルアップができます。

### 高校生向けの情報科の授業

高等学校の教科「情報」は2003年に設置されました。その学習指導要領の定める内容は、SISでは中学1年生でほとんどを終了しているため、高校生向けの情報の授業は、もっと幅広くまたもっと深い分野を目指しています。

デザイン系のクラスでは、CG、クレイアニメーション、FLASH、Webページ作成、Tシャツ制作、コンピュータによる作曲などの実践的なテーマに取り組めます。プログラミングのクラスでは、いろいろなプログラミング言語に対応できるよう、

アルゴリズムや典型的な処理の方法をきちんと学んだ上で各自がコンピュータゲームを作成します。LEGO Mind Storms というモーターやセンサーを備え、プログラムを組み込めるレゴブロックを使って、ヒューマノイドなどのロボットの制作や動作の制御を学ぶクラス、商品の流通や広告宣伝などを学び、実際にネット上にオンラインショップを開業運営するマーケティングのクラスもあります。これらのほとんどが実技中心の授業です。

生徒の要望によって生まれた授業もあります。コンピュータが大好きで、卒業までにすべてのコースを取り尽した生徒もいます。プログラミングが大好きな生徒が、今年も秋に開催されるパソコン甲子園というコンテストに、2チームでエントリーしています。制限時間内に課題のプログラムをいくつ完成できるかを競うもので、まずは地区予選を勝ち抜いて本選へ出場することを狙っています。

卒業後の進路に目を向けると、授業で制作したCG、作曲作品、コンピュータゲーム、クレイアニメーション、映像作品などを持参してAO入試にチャレンジし合格する生徒や、SISの授業で体験したことがきっかけで興味を持ち、将来の進路をコンピュータ関連の分野に決める生徒が年々増加しています。これらの生徒は情報科学、情報理工、映像、デザイン、アニメーションなどの分野に進学しています。

以上、SISにおける情報の授業における取り組みの一端をご紹介させていただきましたが、情報科で取り組んだ生徒の作品はSISのWebページで公開していますので、どうぞご覧ください。

千里国際学園 中等部・高等部  
〒652-0032 大阪府箕面市小野原西 4-4-16  
電話 072-727-5070, FAX 072-727-5055  
HP:www.senri.ed.jp, E-mail:admissions@senri.ed.jp

### 合志 智子 (こうし ともこ)

千里国際学園 情報科主任

1958年生まれ。1982年、大阪教育大学教育学部特別教科理科(生物学)専攻卒業後、富士通㈱にSE(システムエンジニア)として勤務。1991年より同社教育部門でSE養成コースの講師、関西大学、関西外国語大学の情報教育担当講師を経て、2000年より千里国際学園に情報科教諭として勤務。情報科主任。現在、高等部2年生の担任。校務分掌はインターカルチャーの編集を担当。



「情報」の授業は、設備・教員・内容の面で、どの学校も苦労しているようです。しかし、千里学園では、学校全体のカリキュラムの中に組み込んで成功しています。

日本の大学生の中に、道具としてのコンピュータやIT機器の全く使えない人がいるのに驚かされます。ここで紹介された「プレゼンテーション」への取り組みのように、情報科で道具の使い方を学び、プレゼン内容や方法・スキルを教科を横断した指導で受けるのが理想です。そんな、カリキュラムを実践しているのが、千里です。がんばってください。